

ハルラ

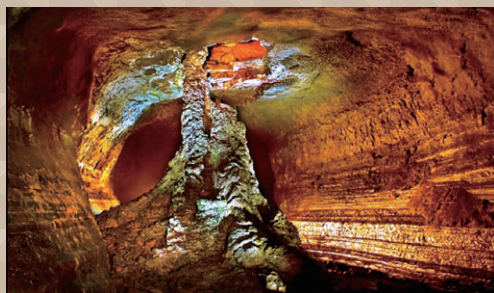
漢拏山
濟州島の中心にそびえたつ漢拏山は、
韓国で最も高い標高1,950mです。

世界の地域から

濟州特別自治道（大韓民国）

韓国南端に位置し、人口約58万人の濟州特別自治道は、濟州島と付属の島嶼^{トウシヨ}で構成されています。火山活動で形成された、韓国で最も大きい島である濟州島では、島内いたるところに火山景観等の美しい自然景観を見ることができます。2007年には、「漢拏山天然保護区域」、「拒文岳溶岩洞窟系」、「城山日出峰」がユネスコ世界自然遺産に登録されました。

世界的にも有名な観光地として知られ、国内外から多数の観光客が訪れています。2012年には、約969万人（国内観光客約801万人、海外観光客約168万人）の観光客が濟州島を訪れました。
（写真提供：濟州観光公社）



万丈窟
拒文岳溶岩洞窟系の一つで、世界最長の溶岩洞窟である万丈窟は、全長約13.4kmのうち約1kmが観光客に公開されています。



龍頭岩
龍頭岩は、龍の頭の形をした溶岩石で、今にも龍が動き出すかのような迫力があります。



城山日出峰
濟州島東端にそびえ、日出の名所として知られている城山日出峰は、海底噴火によって生まれた標高約180mの火山です。

済州オルレ

オルレとは、「大通りから民家に至る小さな路地」を表す済州の方言です。済州オルレは、誰でも気軽に歩くことができるウォーキングルートで、現在、21コース、全長約425kmのルートが設定され、国内外の徒歩旅行者たちに親しまれています。各コースの一部だけを歩くだけでも、十分に楽しむことができます。



三姓穴

三姓穴は、かつて済州島が独立国であった頃の「耽羅^{タムナ}」を創始したといわれる三神人の誕生伝説がある建国神話の聖地です。



城邑民俗村

済州島の昔ながらの町並みや暮らしぶりをそのまま残し、民俗資料保護区に指定されているこの村では、今も人々が生活を営んでいます。



柱状節理帯

節理とは、溶岩が冷却される時に、規則的なひびが入ったもので、自然が作った芸術品です。



天帝淵瀑布

神秘的な雰囲気にもまれた溪谷で、夜になると仙女が沐浴をしながら天から降りてきたという伝説があります。